

平成24年度

教育行政執行方針



教育目標

上富良野町の教育は、郷土を愛し、知・徳・体の調和のとれた感性豊かな人づくりをめざします。町民が、生涯にわたって学び、家庭・地域・学校が互いに協力し、「生きる力」を育むよう次の目標を定めます。

- 1 知性を高め、一人一人のよさを伸ばし育てる
- 2 豊かな心と健やかな体を養い、感性を豊かに支えあう意識を育てる
- 3 自然や文化を大切にし、郷土を愛する心を育てる

平成24年度 教育行政執行方針

平成24年第1回定例町議会の開会にあたり、上富良野町教育委員会の教育行政の執行にかかわる主要な方針について申し述べ、町議会をはじめ町民の皆様のご理解とご支援をお願い申し上げます。

■ はじめに

平成23年3月11日に発生した東日本大震災と原発事故は、被災地域だけでなく、我が国全体に大きな衝撃を与えるとともに、様々な影響を及ぼしました。

一方で、被災地の子どもたちや地域住民、各自治体・NPO・企業等の積極的な行動と、全国各地から集まった人々のボランティアなど、世界からも評価される「人の絆」は、未来への希望を感じとることができました。

特に、「人と人との支え合い」や「ふるさとを愛する心」、「子どもたちの自主的な行動」、「優しく人を思いやる心」などは、教育がめざす原点であり、不易なものであると考えております。

町づくりは、人づくりや地域の教育によって支えられ、活性化されるものであります。その主体となって次代を担う人材を育むために、教育の果たす役割はますます重要になってきております。

このために、教育における不易を大切にしながら、幼児期から高齢期まで、ライフステージに応じた学習の機会を提供するとともに、何より、町民一人ひとりが自ら進んで学ぶことに生きがいや喜びを感じ、「笑顔」があふれる教育行政に取り組んでまいりたいと考えております。

そのために教育委員会といたしましては、町民憲章を踏まえ、「上富良野町教育振興基本計画」並びに「教育目標」を基本と

して、十勝岳の自然豊かな地域素材や人材を活かし、家庭・学校・地域が一体となった教育活動を大切に「次代を担う豊かな人づくり」を推進してまいります。

また、各施策の点検管理や執行状況を明らかにする「教育委員会点検・評価」を継続して実施し、その取り組みをより効果的かつ、円滑に推進するよう努めてまいります。

学校教育の推進

学校教育においては、「夢ひろげ、たくましく未来を切り拓く児童生徒の育成」を基本方針に、「確かな学力と豊かな心やたくましい体の育成」「開かれ信頼される学校づくりの推進」「人間力を磨く教師の育成」「教育条件整備の充実」をめざしてまいります。

「確かな学力の向上」につきましては、これまでの全国学力・学習状況調査等の結果から、生活面では、家庭生活や学校生活などにおいて継続して安定した様子が見られています。

また、学力面では、国語・算数数学ともに、基礎的な学力が確実に身に付いている様子が伺えます。

しかしながら、活用力・応用力において課題が残っている状況が見られております。その課題解決に向けて、引き続き基礎・基本の確実な定着と、それを活用して解決するために必要な思考力・判断力・表現力などを育み、主体的に学習に取り組む態度を育ててまいります。

そのために、各学校においては、「全国学力学習状況調査」や「学校評価」などの結果を基に、「学力向上プラン」を作成し、具体的に実践を進めております。

北海道では、平成26年度の学力調査までに「全国平均以上」とする目標を立てており、本町においても目標を設定し様々な

取り組みを進めてまいります。

学習活動交付金については、学力向上への取り組みを主に活用してまいります。

その他に、確実に学力の定着を図るため、学校と保護者や地域が子どもの望ましい生活・学習習慣に向けた家庭生活の在り方について、あらゆる機会を通して発信してまいります。

また、子どもたちの学力等の状況を引き続き検証していくため、本年度も全国学力・学習状況調査を北海道と連携を図りながら実施を予定しております。

「豊かな心の育成」につきましては、道徳の時間を要として、全教育活動を通して人の気持ちを理解し、思いやりの心や規範意識・感動する心、そして、生命を大切に作る心など、本町の子どもたちに定着しつつある「心」をさらに向上させる取り組みを推進してまいります。

そのために、道徳の時間の充実や総合的な学習の時間・特別活動の充実と、キャリア教育の一環とした職場体験学習を通し、多様な体験活動を促進させ、自然や人とのふれあいを深めて「心の教育」の推進に努めてまいります。

また、「いじめ・不登校」などの防止に向けては、学校・家庭・関係機関との連携を密にし、各種の調査やアンケートなどを活用して、早期発見・早期解決に努力してまいります。

「たくましい体づくり」につきましては、正しい生活習慣と健康管理の理解と定着を促し、運動する機会を増やし体力の増進を図ってまいります。

そのために、体育や保健の授業の充実と日課の工夫によって体を動かす時間の確保や習慣化を図ること、家庭や地域と連携しながら「早ね・早おき・朝ごはん」など、正しい生活リズム

の確立を図ってまいります。

また、体力・運動技能の向上を図るだけでなく、自主性や協調性・忍耐力など、心身両面にわたる健康の保持増進を図る少年団活動や部活動への支援にも努めてまいります。

以上の様々な方策とともに、地域に開かれ、信頼される学校づくりのために、保護者への授業参観だけでなく、地域の方々や各機関へも授業を見てもらう機会を設けてまいります。

また、学校評議員や学校関係者評価委員会の意見、保護者・地域の外部アンケートなど、多くの声を活かした学校評価を実施し、学校運営の改善を積極的に進めてまいります。

児童・生徒の指導等につきましては、いじめや不登校、薬物・虐待・自殺・有害情報などの問題が依然としてあとをたたない現状があります。本町においては、学校・家庭・地域の努力と連携協力によって、問題等の事例は少ない状況にあります。

しかしながら、それぞれの問題は、どこの学校でも起こりうるもので、日頃から、児童生徒などが発する危険信号を見逃さないよう早期発見に引き続き努めてまいります。

その手だてとして、教職員の児童生徒理解力を高める「研修活動の充実」と、子どもたちの目線にたった「教育相談や相談体制の充実」を図ってまいります。

上富良野中学校には引き続き「心の教室相談員」を配置するとともに、適宜、学校教育アドバイザーを学校の相談のほか、保護者・地域との相談にも対応させてまいります。

へき地・複式教育につきましては、それぞれの地域実態や特色を活かした指導によって、魅力ある学校の推進を実現し、地域に信頼される学校づくりに効果をあげているところであります。

今後も地域や保護者と一体となった小規模校ならではの教育活動を推進し、その充実を図ってまいります。

そのために、各学校の特色ある取り組みや行事等への支援はもとより、へき地・複式教育の研究を進めている「上川南部地区へき地複式研究連盟」への支援も継続して行ってまいります。

江幌小学校においては、地域の温かさと自信を育てる少人数指導などを望む児童が、校区外からも就学できる「特認校」として、さらなる発展をめざして情報提供に努めてまいります。

また、少子化による児童生徒の減少にともない、昨年に引き続き、事務職員未配置校である東中小学校・東中中学校に校務の円滑化を図るため、町費で事務職員を配置してまいります。

特別支援教育につきましては、障がいや困り感のある子どもの教育的ニーズに応じた校内体制の整備と、その指導法の充実に継続して努めてまいります。

そのために、個別に対応した人的支援が重要であることから、本年度も上富良野小学校と上富良野西小学校、上富良野中学校に「特別支援教育指導助手」を配置し、指導の一層の充実を図ってまいります。

また、今年度は、上富良野西小学校に「病弱学級」、上富良野中学校には「肢体不自由学級」の新設をしてまいります。

そして、乳幼児から中学校まで、本人と保護者が活用できる、個に応じた育ちの記録と学びの応援ファイル「すくらむ」を作成し、活用普及をしてまいります。

また、幼稚園の特別支援に対して助成を行い、指導の体制充実に努めてまいります。

さらに、「上富良野町特別支援教育連絡協議会」や「就学指導委員会」の活動を通して、関係者の連携や研修の機会を持ち、指導の充実と特別支援学校や専門機関等の専門的見地から助言

指導を得て、自立や進路・社会参加への支援を積極的に行ってまいります。

学校の危機管理につきましては、噴火・大雨・地震など自然災害や事件・事故の危機から子どもたちの安全・安心を確保するとともに、地域の応急避難場所としての役割を学校が果たしていくため、町の防災計画と連動した防災教育の充実や各学校の実態に合わせた危機管理マニュアルの点検を行ってまいります。

また、発生時の対応及び連絡等について、関係機関との共通理解と連携を図る取り組みを継続して進めてまいります。

そして、住民会・町内会による登下校時の「見守りパトロール」や「青少年健全育成をすすめる会」など、継続して地域総ぐるみで協力体制づくりを進めてまいります。

また、状況に応じて各学校の教職員や教育委員会職員による町内巡視活動も実施し、子どもたちにかかわる安全確保や事件及び事故の予防に最善を尽くしてまいります。

教育環境の整備につきましては、上富良野小学校の校舎改築に向けて、昨年、上富良野小学校建設検討委員会にて審議をいただき、基本設計をまとめていただきました。今年度は、平成25年度事業着手をめざし実施設計を行ってまいります。

また、西小学校体育館改修工事や上富良野中学校グラウンドの一部改修工事などを実施し、安全・安心な学校環境の整備を図るとともに、教材備品の拡充を図るなど、学習環境の整備にも継続して取り組んでまいります。

学校給食につきましては、今年度も、四季折々の新鮮な食材、旬の味覚を味わうことができる地場産の食材を活用した「顔の見える学校給食」の提供に継続して取り組んでまいります。

また、「お弁当持参の日」は、親子のふれあいや家族への感謝

など、親子の「絆」につながるものとして継続して実施してまいります。

さらに、栄養士による食の正しい知識や望ましい食習慣を身に付けさせる指導を、学校と連携を図り充実させてまいります。

国際理解教育につきましては、友好都市でありますカナダ・アルバータ州カムローズ市から英語指導助手を迎えて、各学校の授業やサークル活動を通して国際理解教育の推進とともに、上富良野町とカムローズ市との交流発展に努めております。

また、小学校の総合的な学習の時間を活用した英語活動や外国語活動のサポート、そして、中学校の授業において積極的に活用を進めてまいります。

さらに、幼稚園・保育所への訪問や英会話教室などを利用し、幼児も含めた町民の皆様に、国際理解の輪を広げるよう、その推進に努めてまいります。

姉妹校交流推進事業につきましては、平成9年7月の「上富良野西小学校」と三重県津市の「安東小学校」の姉妹校提携調印以来15年目を迎えておりますが、本年度は、交換交流と物的交流を行い充実した両校の交流をさらに深めてまいります。

道立上富良野高等学校の振興につきましては、富良野地区中学卒業生が前年度よりも少なく、ますます生徒の確保が難しく、その存続の危機に直面している現況にあります。

上富良野高校では大手予備校と提携し、「ビデオ・オン・デマンドシステム」を富良野地区として初めて取り入れ、能力に応じた学習を進めております。

また、キャリア教育では、町内事業所の協力を得て就業体験を実施し「学力だけでなく、人として生きる力」を育てており

ます。

今後は、引続き町内中学校との交流・資格取得検定料の補助や入学準備金などの支援はもとより、「上富良野高校教育振興会」「上富良野高校サポーターズクラブ」や「上富良野高校野球部を応援する会」、そして、地元関係各位とともに、我が町高校の存続に向けて、知恵を出し合い新たな振興策を喫緊の課題として取り組んでまいります。

■ 社会教育の推進

社会教育の推進につきましては、公民館や図書館、社会教育総合センターなどの社会教育施設を活用しながら、町民一人ひとりに、生涯にわたって自主的に学ぶ機会を提供し、社会教育基本方針に基づき「豊かな心と健やかな体を育み、潤いある地域づくりをめざす生涯学習」のさらなる推進に向けて、社会教育を進めてまいります。

そのために、平成21年度から施行している第7次社会教育中期計画の進捗状況に応じ検証を進め、家庭・学校・地域社会のそれぞれが持つ教育機能の充実や連携・融合を図りながら、具体的方策の実施・実現を進めてまいります。

家庭教育につきましては、家庭こそ、子どもたちの人格形成に必要な「基本的生活習慣」と「調和のとれた心身」を育むことが教育の原点であります。このことから、「早ね・早おき・朝ごはん」運動などを通して、食事や睡眠などの大切さの理解と「親子の絆」・「健やかな子育て」の向上をめざして、多様な学習機会や情報の提供とともに、本の読み聞かせや芸術鑑賞などの情操を豊かにする取り組みなど、地域の教育力も活用させていただきながら、その充実を図ってまいります。

また、家庭教育学級や子育てサークルなどを通しての相談活動や交流活動・スポーツ活動などを積極的に支援するとともに、

明るく安心して子育てを進められる家庭環境づくりをめざし講演会や研修会の拡充に努めてまいります。

さらに、毎月第3日曜日の「道民家庭の日」の啓発や普及促進を図り、本町の家庭教育力のさらなる向上を推進してまいります。

青少年教育につきましては、次代を担う青少年のスポーツや文化活動の推進を図るため、子ども会やスポーツ少年団、青少年団体協議会などの自主的活動を尊重し、継続して支援・協力を行ってまいります。

今年は、「青少年団体協議会」が50周年を迎え、さらに活動への支援をしてまいります。

将来の地域のリーダーづくりをめざし「なかよしサミット」や「青少年交流事業」などを通して、小・中・高校生を対象とするジュニアリーダー育成事業を推進してまいります。

今年は、3年毎に開催している姉妹都市「津市」へ、小学生4年生から6年生を対象に、第6回青少年国内交流研修を実施し見聞を広めてまいります。

また、地域・PTA・関係機関の協力をいただいております「学校支援ボランティア」の活動や「青少年健全育成をすすめる会」などによる活動を通して、青少年が健やかに育つ環境づくりや町づくりを継続して行ってまいります。

放課後プラン事業につきましては、保護者・学校・地域などの理解と協力を得ながら、子どもたちの放課後の活動が「より安全で安心な居場所づくり事業」として放課後スクールと放課後クラブを引き続き運営してまいります。地域の方々のさらなるご協力を得ながら、学校や保健福祉部局と連携し、上富良野の子どもたちを健全に守り育てる事業として推進してまいりま

す。

また、この事業をより円滑にするにあたり、日々子どもたちのお世話をしていただく人材の確保に、今後とも努めてまいります。

成人・高齢者教育につきましては、成人の方々の自主的なサークル活動への支援と各種の学習機会の開設などに取り組み、その活動の活性化に努めてまいります。

成人女性を対象とした女性学級と、「若く老いよう」を合言葉にした高齢者対象の「いしずえ大学」を引き続き開設し、健康で明るい生活を築く学びの機会を提供するとともに、生きがいづくりと社会参加の促進を図ってまいります。

また、「いしずえ大学創立40周年」を迎えるにあたり、さらに自主的な運営のための自治会活動を支援してまいります。

今後も、成人者や高齢者の方々が培った知識や技能を、各種の学習活動や体験活動に活かし伝えていただくなど、積極的なかかわりの中で、学びあい支え合う人づくり・町づくりを進めてまいります。

文化芸術の振興につきましては、人々の心に安らぎと潤いをもたらすことを目標に、美術展覧会や音楽・舞台芸術の公演などを文化団体や愛好者と連携し、優れた芸術・芸能・文化にふれる機会の充実を図ってまいります。

また、町民の皆様が心の豊かさを求めて日常的に練習を行っている文化芸術活動の発表の場として総合文化祭を開催し、自主的な発表の機会を支援するとともに、地域文化の継承と発展をめざしてまいります。

図書館の運営につきましては、本年4月からスタートします

「子ども読書推進計画」を基に、子どもがその成長に応じた読書に親しめる環境づくりをめざすために、読書推進活動に必要な方策を講じてまいります。

子どもたちの読書への関心を高めるため、児童書の充実を図るとともに、本とふれあう機会を拡充し、妊婦や乳児期には絵本にふれるきっかけづくりのブックスタートや、幼児期での読み聞かせの充実、学童期は各小学校に朝読書支援や移動図書活動を継続してまいります。

また、読書普及活動など、本を活かした学習活動にご協力いただいているボランティア団体への活動支援も引き続き行ってまいります。

今後も様々な機会を通して、町民の皆様のご意見・ご希望を広く聞き、「町民に親しまれる図書館」をめざして取り組んでまいります。

郷土館につきましては、収蔵展示品を整理し、郷土学習に活用が図られるよう情報提供をしてまいります。

また、「郷土館特別展示」を総合文化祭に合わせて開催し、多くの町民の皆様にご観覧いただき、郷土の歴史などについての造詣をさらに深めていただけるよう、充実に努めてまいります。

スポーツ振興につきましては、スポーツ基本法制定にともない継続したスポーツ振興を基に、人格の形成、体力の向上や心身の健康増進を保持するとともに、私たちに多くの夢や大きな感動、楽しみを与え、活力に満ちた社会を形成するうえで欠かすことのできない大切な役割を果たしております。そのため、それぞれの体力や年齢に応じた多様なスポーツや体力増進に取り組むことができるよう、各種スポーツ大会を開催するほか、地域や各スポーツ団体との連携を図りながら、指導者への支援

を行ってまいります。

また、スポーツの競技力向上や各種スポーツ団体の自主的な活動の支援にも努めてまいります。

スポーツ施設の管理運営につきましては、利用者ニーズの多様化に応え、施設の有効利用が図られるようスポーツ団体や地域との協議を行い、適正な管理運営をめざします。また、学校の協力のもと引き続き学校開放事業を実施してまいります。

社会教育施設につきましては、町民の社会教育活動の場として、本年度は、開拓記念館の屋根塗装や指定文化財表示塔の改修、社会教育総合センター施設整備など、施設の適切な維持管理をはじめ、指定管理者や関係団体との連携を十分に図りながら、多くの町民の方々に利用していただけるよう努めてまいります。

おわりに

以上、平成24年度の教育行政の執行に関する主要な方針について申し上げます。

「豊かな人づくり」の実現に向けて、教育の果たす役割はますます大きく、とりわけたくましく未来を切り拓く子どもたちを地域全体で守り育てていくことが重要であります。

教育委員会といたしましては、教育・文化・スポーツの振興と生涯学習社会の実現をめざし、一つ一つの施策を全力で取り組んでまいります。

議員並びに町民皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。教育行政執行方針といたします。

平成24年3月8日
上富良野町教育委員会